

令和7年度 学校関係者評価報告書

学校法人大原学園
大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人大原学園 大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門学校学校関係者評価委員会は、令和6年度自己点検・評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告致します。

1. 実施日

令和7年8月7日

2. 学校関係者評価委員

江口 美貴 氏 (株式会社 ヴルーメン 取締役会長)
高野 芳樹 氏 (株式会社 T A T 代表取締役社長)
松原 輝和 氏 (株式会社 J T B 神戸支店 営業第二課長)
向吉 正実 氏 (東武トップツアーズ株式会社 関西支社 大阪法人事業部 営業担当部長)
森山 昭弘 氏 (株式会社 T E I 支店長)
川喜多美由紀 氏 (株式会社 阪急阪神ホテルズ 人材開発部人材育成)

(事務局)

宮路 信美 (大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門学校 校長)
藤川 宏明 (大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門学校 第2教務部部長)
山本 省二 (大原学園 関西圏就職本部)
藤井 智香 (大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門学校
ブライダルビューティー課 課長)
梶原 賢二 (大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門学校 外語観光課 課長代理)

令和6年度自己点検・評価の概要

大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校の2024年度における自己点検・評価については、全般的に良好な結果であった。

学校運営は、意思決定システムが確立されており、円滑な運営が行われている。また、教育理念に基づいた運営方針が明確に定められており、教育理念を達成するための事業計画の策定、各種研修制度の確立を通じて有為な人材育成を行うことができていると考える。

さらに、学校運営として、予算計画・執行は規定に従って適切に行われており、財務状況も安定している。

昨年度は、学校関係者評価委員の皆様より、「作品および技術等の発表における成果を把握しているか」「留学生の相談体制について」「学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制」の3点に関してご助言を頂戴し、重点的に改善に努めてきた。

将来像を意識した幅広い業界・分野への就職活動については、教職員による担当学生のニーズの把握力を高めており、また多くの有効求人が存在する時期と学生の就職意識はトレードオフの関係性もあり、複数担当制により学生の成長力を高められる体制を整え、対応力の強化を図っている。留学生に対する日本語以外の指導に関しては、就職の授業を通して、各種マナーの指導や日本独特の各種ルールの説明を実施した。また、一部掲示物は複数か国語を活用している。なお、日本語学科は2024年度には入学者の国籍比率を再検討したことにより中途退学者が減少した。今後も同様の取り組みを進めたい。

令和7年度 重点目標1

教員の資質向上への取り組みを行っているか

<現状・達成指標>

達成度合：80%

定期的に学生アンケートを実施するほか、上司の講義聴講等により専門性、教授力の把握・評価を行っている。講義力の向上では様々な人の意見を聞ける体制の構築を意識している。

企業等と連携した教員研修や学内研修を実施している。学科ごとに目指す試験の制度や業界ニーズにあわせた教育のための資質向上に努めている。科目研修はアウトソーシングを考慮して実施内容を工夫している。授業をアウトソーシングする科目についても学内スタッフが基礎知識を得ることにも取り組んでいる。

現在取り組んでいる英語力の底上げにつき、学内での体制を検証したい。

<具体的方策>

他チームのメンバーによる講義チェックで、講義力の向上を目指す。

また各種の企業で取り組んでいる社内教育の工夫の情報収集を行い、学内での取り組みに改善の余地がないかを検討する。

実技や現場系のスキル向上のため、施設様での教員向けの見学や研修の可否についても情報収集を実施する。

英語力の底上げについては他の企業で実施している事例を確認し、情報収集をする。

<学校関係者の評価・提言>

(江口委員) 学校の各種のスキルアップの姿勢に対して評価している。

- (高野委員) 学校の取り組みについて評価をしている。参考までであるが、社内ではスクーというサービスを個々人で学べるようにしています。 <https://school.jp/> チームビルディングは人事が個別に実施しています。
- (川喜多委員) 弊社でも社内研修実施の際は必ずアンケートによる満足度や今後どんな学びを深めたいかを確認している。レストランサービス、接遇関連は社内講師もいるためご要望があれば協力させていただきます。英語力向上はレッスンに加えて自己学習が必須。自己学習を習慣化するアプローチが必要。
- (森山委員) アンケート実施による教員の意識、スキル改善の取り組みを評価します。語学力向上への積極的な取り組みを評価します。
- (松原委員) 常に向上を意識している点を評価する。英語力の向上に関しては課題と感じている企業も多いと思う。特に有効的な対策を模索していきたい。
- (向吉委員) 他社(学生、他教員)からの評価は自身を客観的に見つめ直せるので良い取り組みだと思える。「自己学習プログラム」の導入などを検討しても良いかと思う。

令和7年度 重点目標2

留学生に対する相談体制の整備(就職等進路に対する支援組織体制を整備しているか)

<現状・達成指標>

達成度合:80%

コミュニケーション面では掲示板の多言語化や、英語・ベトナム語の対応も実施している。また相談内容は、通常の個別相談以外にも入管サポート、アルバイト紹介などにも広がっている。進路の相談時にビザについての相談を受けることが多数ある。教職員側の知識については成長の余地があるため、多角的な情報収集に取り組み、支援体制を強化していきたいと考えている。

<具体的方策>

コミュニケーション面並びに進路の相談両方への解決策として、「職員の知識向上」と「専門機関との連携」があげられる。

入国管理局からの情報や、ニュースなどにアンテナをはり、情報を収集していくことが大切である。また、外部が主催しているビザに関する研修会などにも参加していく。

就労ビザ(技人国)や特定技能ビザについての事例については、企業様の立場での行政からの通達や実情をお伺いしさらに知識を深めていく。

<学校関係者の評価・提言>

(江口委員) 学校の取り組みを評価しています。就労ビザ等を含め基本的な状況が整えば留学生の採用も可能です。

(高野委員) 現在は留学生を積極的に採用はしていないが、かつて採用した人は人文国際業務で採用しており、現在は永住ビザになっている。

(川喜多委員) 弊社では技人国ビザを取得している従業員の割合が多いがそれぞれ目的に応じて必要な人材を採用している。特定技能1号は支援義務への対応を今後の課題としている。

(森山委員) 留学生の就職支援に対する取り組みを評価。ただし、就労ビザについては就業先企業の範疇かと思います。

(松原委員) ビザに関しては種類も多く、制度の変更などもリアルタイムでキャッチアップしていくことが必要と感じる。

(向吉委員) 査証取得の条件がめまぐるしく変更されるので、情報収集は継続性が重要と考える。

令和7年度 重点目標3

産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか

<現状・達成指標>

達成度合：80%

様々な附帯教育を設け再教育プログラムの開発実施に取り組んでいる。

産学連携ではないが東京経営大学の開校に伴い、学び直しとして大学卒業資格の取得や関連知識の習得を希望する学生への対応を開始した。社会ニーズについての情報収集をさらに強化したいと考えている。

<具体的方策>

再教育プログラムとして期待する内容について情報収集を進める。

学び直しの社会ニーズに対する情報収集をさらに強化する。

<学校関係者の評価・提言>

(江口委員) 再教育への取り組みを評価します。希望があれば、卒業生に対して当社が携わるイベントやディスプレイ等での研修も可能です。

(高野委員) 再教育プログラムへの取り組みを評価します。

(森山委員) 再教育プログラム開発への取り組みを評価します。大学開校に伴う各校連携を評価します。

(松原委員) 卒業後のフォローも重要と感じます。高く評価します。

(向吉委員) ぜひ今後も取り組みを強化して頂きたい。

令和7年度 重点目標3

学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか

<現状・達成指標>

達成度合：80%

学外実習や研修等の前後には事前指導＋振り返り指導を大切にし、研修の効果を高めるように取り組みをしていきたい。

学外実習での指導の均一化や実習期間・時期・回数・カリキュラムとの連動については継続して研究している。様々な附帯教育を設け再教育プログラムの開発実施に取り組んでいる。

産学連携ではないが東京経営大学の開校に伴い、学び直しとして大学卒業資格の取得や関連知識の習得を希望する学生への対応を開始した。社会ニーズについての情報収集をさらに強化したいと考えている。

<具体的方策>

確認シートや振り返りシートの改善を常にはかり教育的効果を高めていく。

メインとなるインターンシップ先以外の短期間実習の受け入れの可否についての検証を進める。

インターンシップと就職活動との連動についても企業様の意向を確認する。

<学校関係者の評価・提言>

(江口委員) 1日だけでも研修等にご参加いただくことは可能です。ぜひご相談ください。

(高野委員) 研修なども充実されていると思います。ネイル業界でのインターンシップの受け入れなどはあまりないのが実情です。

(森山委員) 研修など充実していることを評価します。

(松原委員) 百聞は一見に如かずの言葉通り、現地で得られることは大変大きいと感じます。是非お手伝いをさせていただきます。

(向吉委員) 分野（業務内容）を絞り込んだインターンシップが効果的と考える。目的を明確にしたほうが受け入れやすい。例えば、ツアープランニング、データ営業・分析、手配業務など。

全体評価と総括

(学校関係者評価委員)

大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門学校の教育成果及び学生指導並びに学校運営の取組みについて、企業の視点から検証を行い自己評価結果は妥当であると評価いただいた。

今年度重点的に取り組む項目として「教員の資質向上への取り組みを行っているか」「留学生に対する相談体制の整備」「産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか」「学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか」を挙げている。いずれに対しても例年通りの対応ではなく時代に合わせた対応に対する取り組みには評価をいただくと同時に、さらなるご提言を頂いた。

(事務局)

今回の委員会でも、学校関係者評価委員から様々なアドバイスを頂戴した。教職員一同いただいたアドバイスをしっかりと活用し、大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門学校運営の更なるブラッシュアップを図っていきたいと考えている。

文責 藤井 智香
梶原 賢二